

令和3年度第4回調布市文化財保護審議会会議録（抄）

【日時】令和3年12月22日（水）14：00～15：30

【場所】教育会館201会議室

【出席】6人 稲葉会長，石川副会長，木下委員，八木橋委員，佐藤委員，岩澤委員

【欠席】1人 生駒委員

【議事】

（事務局）委員定数7人中6人出席。過半数出席により会議成立を確認。

1. 郷土博物館長挨拶

（早野館長）引き続き，絵堂のカゴノキの審議を宜しくお願いします。

2. 事務局報告

（1）染地遺跡出土品展示見学会の開催報告

（事務局）多摩川住宅建て替えに伴い染地遺跡第121地点の調査を行った東京都埋蔵文化財センターが出土品の展示見学会を実施。多摩川住宅住民を対象。12月1日から3日まで延べ286人来場。土器，石器，木製品などを展示。かなり盛況であった。

（2）市天然記念物「シロハナヤブツバキ」樹勢回復作業について

（事務局）11月に剪定作業を実施。生育は非常に良い。来年度も引き続き樹勢回復に努める。今後の懸念材料としては，ツル性植物に覆われることと，虫の発生や病変が見られること。いずれも樹勢に大きな影響を与えるものではないが，引き続き対策を継続し，以前のような樹勢回復に努める。

（3）国史跡下布田遺跡史跡整備ニュースレターの発行について

（事務局）ニュースレターは，下布田遺跡の史跡公園化について，市民や市職員にも広く史跡整備の進捗等を認識してもらうことを目的に今年度から創

刊。創刊号では整備計画や近隣小学校での取り組みなど、第2号では遺跡概要や昨年実施した市民ワークショップの概要と主な意見などを掲載。図書館、地域福祉センター等にも配布した。

（４）深大寺近代文書等史料調査について

（事務局）事務局で図版組みを行い、1月上旬に各先生から修正後データを受領次第、編集作業を開始。1月末に印刷製本依頼、3月末に目録を計3冊刊行予定。

（岩澤委員）染地遺跡に行ってきたが、内容のある良い報告であった。都の担当者によると展示物はいずれ全部郷土博物館に移管することのこと。染地遺跡はこれからも発掘は続くのか。

（事務局）多摩川住宅では他にも建て替えの計画があるので、今後も発掘調査が行われることになると思われる。

（稲葉会長）見学者が非常に多かったようだが地元の方以外も来場したのか。

（事務局）市報やホームページ等に掲載していなかったが、研究者や一般の来場もあった。

（木下委員）染地遺跡は非常に興味深かった。東京都から調布市にはどのように報告されているか。

（事務局）現地調査期間中は東京都、東京都埋蔵文化財センター、東京都住宅供給公社、調布市が参加して月一回報告会が行われた。整備作業期間中は案件があれば行われる。令和4年3月に報告書が刊行される予定。整備作業終了後遺物は調布市に移管されることになっている。

（木下委員）年度内に一通りの整備を終えて、多摩センターに移ると聞いている。伊勢湾地域で作られた土器が入ってきており、かなり広域の交流を物語る。南北に走る水路跡があり、条里地割がかつてあったのではないかと。

（石川副会長）絵堂のカゴノキのツバキ菌核病について、菌は木の上下に動くので、道路管理課が草刈りをする際に、落ちた花がらも一緒に持って行っ

てもらえるとよい。薬剤をかけているようだがなかなか効かない。

（事務局）花がらも取ってもらえるよう道路管理課にお願いしたい。

（稲葉会長）下布田遺跡ニュースレターは定期的に出していくのか。

（事務局）もともと市民ワークショップの進捗を紙面で紹介する予定だったが、今年はワークショップを一度も開催できなかったため、史跡PRという形を出した。今年度はあと2回程度発行できればと考えている。

（稲葉会長）せっかく出しているのだから、関係者だけでなく広く関心を持ってもらえるようなものにしていくべき。郷土誌会など協力できないか。

（岩澤委員）ワークショップに参加しており、協力できるところはしていく。大事な遺跡なので、もっとうまくPRできるとよい。調布の遺跡の代表的なものになると思うのでそこをうまくPRできればと思う。

（稲葉会長）整備計画の今後の見通しは。

（事務局）今年度は基本設計策定の予定であったがコロナにより令和4年度に先送りとなった。今年度は基本設計に先立つ測量を実施。市や国の財政状況により今後も不透明な状態。

（稲葉会長）そういうことも含めた情報提供をしてはどうか。

3. 審議案件

（1）深大寺所蔵「徳川氏寄進状」の文化財指定について

（事務局）名称については学術調査報告書にあわせて「徳川氏寄進状」としている。製作者は将軍家としている。指定理由の記載は生駒委員にお願いする予定。

（稲葉会長）格式の高い寺には古くから出しているもののようだ。綱吉以降は機械的にやっているようだ。それと名称について、普通「御朱印状」と呼んでいるが、「寄進状」のほうがよいのだろうか。11人分が揃っているのは価値が高い。

（八木橋委員）他にも朱印状関係を文化財指定しているかどうか、他がどのように扱ってきたのか、事例を少しほしい。貴重なものであることは間違いない。

(稲葉会長) 生駒委員不在のため別途審議したい。

(2) 市指定天然記念物「絵堂のカゴノキ」の今後の管理について

(事務局) 前回の審議会後、他の場所への移植について業者に確認したが、結論としては周辺道路が狭く車両が入れず敷地外への移植は不可能との見解。敷地内での移植であれば可能。

(石川副会長) 移植は物理的にできないので仕方がない。調布市で管理するなら絶対に倒れないようにしないとイケない。

(佐藤委員) 根回りはどれくらいあるのか。

(事務局) 胸高の幹回りが3.25メートルである。

(事務局) 所有者の意向は、残してもらえるのはありがたいが、木があることで土地の価値が下がり、売れなくなるのは困る。木の周辺部だけを部分的に市に売却して周りに迷惑になるのも困るので、買うならしっかり買ってほしい、というもの。年明けでもよいのでしっかりした見解を出してほしいとのこと。

(稲葉会長) カゴノキはどうやって植わったと思うか。

(石川副会長) この辺りでは珍しい木でもあり、自生ではなく植えたものと思われる。

(稲葉会長) かつて記念樹木と屋敷があり、そこに用水が流れていた、という説明板を立てて残すくらいしかできないかな、というのが私の意見。

(八木橋委員) 現地に地元の役場跡のようなものがあつたのではないかとの話があつたと記憶している。もしそうならば調布の歴史上大事な場所なので、調布市が保存していく必要がある。ただ、市にも財政的、予算的なことがあるので、もしそのような事実が全く確認できないならば、調布市としては保存のために手は尽くしたが、結果として指定解除しか手が無い、ということになるのではないか。

(稲葉会長) そのような検討の過程を記録に残すべきである。用水がひかれたのは明治初期だったと思う。所有者に古い話を聞いてもわからないか。

(事務局) 役場等の記録は見当たらない。敷地のどこに用水があつたかも不

明。

（八木橋委員）もし腐っているならば，倒木の危険度が高く，中央高速道路への影響もあるので，指定解除理由になるのではないか。写真で見る限りは青々として見えるが，実際には倒木の可能性もある危険樹木になっているという判断があれば，解除やむなしと思う。

（石川副会長）樹木医の診断をしたほうがよいのではないか。

（八木橋委員）診断費用に対する補助金は出るか。

（事務局）補助金を使う場合，予算化しないといけないので，来年度になってしまう。

（木下委員）今後の道筋を市で考えてほしい。今日の会議では，かなり傷んでいるのであれば，指定解除やむなし，という方向性の確認はできたと思う。ただ，歴史の検証はしたいと感じる。

（早野館長）予算については，今年度，来年度両面から検討したい。

（稲葉会長）いつまでに先方に返答したほうがよいか。

（事務局）1月くらいには方向性を示したい。市の買い上げについては財政課に相談の上，次回審議会で説明したい。

（稲葉会長）希少木など，天然記念物以外に何か指定されていないか。

（事務局）緑と公園課に確認してみる。

4. その他

次回（第5回）予定 令和4年1月25日（火）14:00～

以上